

令和元年 8 月の市民の声（全 3 通のうち 3 通）

◇ 市政について

【ご意見・ご提案など】

市政について、私がいつも心の中で心配していることが 2 つあります。

- 1 (1) 浦佐駅に観光案内所を作るとのことですが、観光へ行く路線バスが少ないことが心配です。湯沢町はプリンスホテル行きとか大源太キャニオンに路線バスが行くとか、大体湯沢の観光地はよく整備されている。バス会社に路線を変更しなさいとか運転士の不足の中とても無理です。
(2) 只見線の浦佐駅乗り入れは観光面からも必要です。福島県の只見町まで、南魚沼市、魚沼市、湯沢町 3 自治体が力を合わせて頑張りたいと思います。

- 2 若い人たちが南魚沼市から出ていかないようにということです。市内の様子をよく見ても、空き店舗、畑の耕作放棄地など問題点がありますが。畑に一種類の作物を作ってたくさん収入を上げるなどが一番良いと思います。

最後に、この意見が市政の発展に役立てばよいと思って書きました。

（令和元年 8 月 5 日）

【お返事】

1. 浦佐駅について

(1) 観光地への路線バスについて

路線バスについて、運行している交通事業者においては、利用者数の伸び悩みや運転手の不足といった観点から、大変厳しい経営環境にあります。ご指摘いただいたように、バス運行に対して市が路線変更を促すことは、現実的に不可能であると考えます。

市では、今年の4月27日から5月6日までのゴールデンウィーク期間と、8月10日から8月18日までのお盆の期間に、六日町駅から観光施設を經由し浦佐駅へとつながる周遊バスの試験運転を行い、同時に利用者によるアンケートを実施しました。今後は、アンケート結果を参考にしながら、市内各駅と観光地をつなぐ、実現可能な交通手段について検討していきたいと考えています。

(2) 只見線の浦佐駅への乗り入れについて

この度、浦佐駅に開設する観光案内所は、南魚沼市と魚沼市が共同で設置し、両市の玄関口として浦佐駅を機能させようというものです。市としては、現在一部不通となっている只見線が復旧した際は、浦佐駅までの延伸が実現するよう取組みたいと考えています。

2. 若い人達が市外へ出ていかないように について

空き店舗や耕作放棄地は、市内に多く見られます。例えば、六日町駅前通りは当市の中心市街地ですが、商店の後継者不足による閉店や廃業などで、空き店舗や空き地ができています。市では、市内で新たに創業する人に対し、事務所の改修経費や広告宣伝費、法人設立にかかる経費などを補助する「南魚沼市創業支援補助金」などにより、これらの空き店舗などの活用を進めています。

耕作放棄地については、JA・農業委員会を通じた農地の斡旋を行っています。現状では、「田を受けてくれる人がいない」という状況ではないと感じていますが、耕作条件や小作料金などによって、斡旋がうまくいかない場合もあります。今後も、農業委員会を通じて、農地の有効活用を図っていきたいと考えています。

若者が南魚沼に住むには、働きたいと思う職種、職場があることが重要だと考えています。近年では、先進的な取組で農産物を生産する若手農業者や、空き店舗を利用し新規開業を行う若い経営者も見られます。市としては、市内で若者が働きやすくなるよう支援を行っていきたいと考えています。

(担当：都市計画課・商工観光課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇ 共同墓地について

【ご意見・ご提案など】

六日町共同墓地は市民であれば購入可能なのですか？

(令和元年 8 月 15 日)

【お返事】

六日町共同墓地は、六日町共同墓地管理組合が管理していますので、詳しくは六日町共同墓地管理組合にお問い合わせください。

連絡先 六日町共同墓地管理組合

電話番号 0257-772-4680

なお、この墓地は駐車場が整備されておらず、六日町市街地以外の方が利用するには不便な状況と聞いています。その点を考慮いただきご検討ください。

(担当：環境交通課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658

◇塩沢駅前の広場について

【ご意見・ご提案など】

朝 7:30 ごろの塩沢駅の前の広場のところは、歩行者がたくさんいるのに送迎の車が駅の前まで色々な方向から何台もきて、いつ事故が起こってもおかしくない状況です。混雑する時間帯のほんの 30 分でも、駅の前に入らないようにできればと思います。

(令和元年 8 月 27 日)

【お返事】

ご意見をいただきました塩沢駅前広場の混雑の件については、朝方と夕方の主に登下校の時間帯に、駅前広場及び駅前道路（県道塩沢停車場八竜新田線）周辺が混雑することを市も把握しております。とりわけ、朝方は、各ご家庭内で時間的な余裕がないなかで、電車の発車時刻に合わせて送迎車が集中するため、夕方以上に混雑するものと思われま

す。一方、線路に沿った塩沢商工高校方面への道路（市道塩沢西裏 24 号線）は、高校生の登校時間に合わせ車両の通行が制限されています。南魚沼警察署塩沢交番で、車両通行制限の周知に努めているところですが、どうしても通り抜けてしまう車両があり、また、通行制限時刻前も電車の発車時刻に合わせた送迎車の通行があるようです。そのため、色々な方向から何台も車両が進入する状況が発生しているものと思われま

す。塩沢駅は、平成 24 年に現在の駅舎が完成し、その際に旧駅舎脇のトイレを除却し、車の送迎スペースを一定程度確保するなど、車社会への対応に努めてきたところですが、しかし、最近では、子どもを駅まで送迎する家庭が一般的になり、結果的に車両の頻繁な出入りには手狭な空間になってしまいました。

また、駅前の県道塩沢停車場八竜新田線は、駅の手前でカーブしており、第四銀行方面からは駅前の見通しが悪く、混雑の有無を確認できないまま後戻りのできないところまで車

両が進入してしまうケースも見られます。そのため、状況をご存知の方は手前の十字路付近で停車し、子どもを降車させることもあるようです。

しかし、このような状況を把握しながらも、駅正面右側の公園広場を除く駅前広場は市有地ではなく、警察による交通規制や行政による出入り制限は難しいうえ、周辺の土地利用の状況から送迎スペースの拡張や迂回路の設置も現状では困難と言わざるを得ません。

ただし、現在、塩沢駅周辺では、県道改良による駅前の見通し改善と周辺の都市計画について県が調査を進めており、沿線の住民を対象に説明会も開催されたところです。それらを通して地域の方々のご意見をお聞きしながら、どのようなことができるのか検討していきたいと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

(担当：企画政策課)

問合せ：秘書広報課 ☎ 773-6658